



京臨技会報

KYOTO ASSOCIATION OF MEDICAL TECHNOLOGISTS

発行所 (社)京都府臨床検査技師会
 発行責任者 今井 秀一
 編集者 白波瀬 浩幸
 〒606-8395 京都市左京区
 東丸太町 9-1 マンパワービル 3F
 TEL・FAX 075-752-5090
 E.mail : mbox2@kyoto-amt.js-md.net



■ CONTENTS ■

- | | |
|--------------|---------------------------|
| TOP | ◆ 第49回医学検査学会 一般演題登録はじまる |
| INTERVIEW | ◆ 座談会：生理検査研究班の活動計画 |
| REPORT | ◆ 市民公開講演「インフルエンザパンデミック」 |
| ANNOUNCEMENT | ◆ 第49回近畿医学検査学会のご案内 |
| PROCEEDINGS | ◆ 理事会議事録（第11回、第12回） |
| ANNOUNCEMENT | ◆ 第26回日本心電学会学術集会 公開講座のご案内 |

第49回医学検査学会

見方が変わると、仕事が変わる
 ～臨床目線で検査を見る～

一般演題登録はじまる

- ★ 特別講演 「おもしろおかしく」
堀場 雅夫(株式会社堀場製作所 最高顧問)
- ★ 教育講演 「肝臓病Up-To-Date～検査データでどこまでわかる肝疾患～」
岡上 武(大阪府済生会吹田病院 病院長)
- ★ 公開講演 「小さな大病院～魅力ある病院づくり～」
白方 秀二(社会保険京都病院 末梢血管治療センター長)
「ワコールにおける人間科学的ものづくり」
坂 里祭(ワコール人間科学研究所)

<同時開催>

第52回 日本臨床検査医学会近畿支部総会
 第29回 日本衛生検査所協会近畿支部学術研究発表会
 チーム医療実践セミナー (ICT,NST,糖尿病療養指導,運営管理)
 POCTセミナー「POCT機器の操作と通信」



会期：平成21年11月28日(土)・29日(日)
 会場：みやこめっせ(京都市)

主催：近畿臨床検査技師会
 日本臨床検査医学会近畿支部
 (社)日本衛生検査所協会近畿支部

担当：(社)京都府臨床検査技師会
 学会長：今井 秀一
 日本医学臨床検査研究所
 総会長：佐守 友博
 (社)日本衛生検査所協会近畿支部 学術委員会
 学術委員：岡本 豊

<http://kamt49.umin.ne.jp>

- ✚ 会期：平成21年11月28日(土)・29日(日)
- ✚ 会場：京都市勧業館「みやこめっせ」

- ✚ 受付期間：平成21年6月15日(月)から
7月31日(金)まで

- ✚ 申込方法：Webによる申込み
(学会ホームページより、日臨技総合情報管理システムを使って演題登録します)

- ✚ 発表形式：口演および示説発表

- ✚ 学会ホームページ：

<http://kamt49.umin.ne.jp/>

※みなさまからの、多数の演題登録をお待ちしています

INTERVIEW

対談

座談会：生理検査研究班の活動計画

☆対談者

辻 真一朗（京都桂病院・生理検査研究班班長）
山田 宣幸（三菱京都病院・理事／生理研究班（A）
波系担当副班長）
今井 秀一（綾部市立病院・会長）
荻野 和大（三菱京都病院・学術部長）

☆対談日

平成21年5月23日（京臨技総会終了後）



■ 昨年度の活動を通して

— 1年間の班長としての活動を振り返って、感想を教えてください

辻： 年に10回程度の研修会を運営するだけなのに研修内容の企画から講師の選出、スケジュール調整などパワーが要りました。生理研究班員みんなの協力がなければ出来ませんでした。一方、10回程度の研修会では、現代の広い範囲の検査項目に対して会員のニーズは満たされることが分かりました。

■ 今年度は開催回数を増やす

— 今年度は大幅に開催回数を増やす計画ですが

荻野： 今年度は大幅に開催回数を増やす計画ですが、会員のニーズが満たされていないという思いがきっかけになったのでしょうか。

辻： それが大きな理由ですが、参加者が多いのもっと回数を増やしてみようというのもあります。

山田： 会員から「基礎的なことから系統的に学びたい」、「神経系の研修会が少なく、会員メリットが少ない」などの意見もあります。また、心電図ひとつをとっても幅が広く、会員の要望には応えられていないという意識がありました。

荻野： 聴力検査など、生理検査は幅が広いですからね。

今井： 検査室の総数は変わらないけど、検体検査が省力化・少人数化される反面、生理検査従事者数は増えるという事実もありますから。

— 他府県では

今井： 他府県でも同様に多数の研修会を企画されているのでしょうか。

辻： 大阪や兵庫では10回程度と聞いています。その代わり〇〇研究会と称した研修会が数多く開催されています。

— 今年度の活動がスタートしていますが

荻野： 今年度、すでに何回か開催されたわけですが、反応はいかがですか。

山田： 研修会が分散したので、人数が減るかもしれないと予測していたのですが、いざ開催してみると、むしろ多数の参加が得られました。

辻： 今までに参加されていなかった会員の参加も見られます。

今井： さらに発展すると、未入会の人を京臨技へ勧誘することにつながりますね。

■ 要望や課題について

一 京臨技への要望など

荻野： 京臨技への要望や課題について教えてください。

辻： 現在は会場費が無料で、比較的交通の便がよい京都保健衛生専門学校を利用していますが、予算がつけばもっと広い会場を借りたいですね。

山田： 確かに参加者が多いので、多少狭い感じがします。しかし、公共の施設は予約申請が面倒であったり、年間を通して予約できなかったり、結構不便なことも多いです。シリーズ開催なら同一会場で行いたいですね。

荻野： これだけの回数を行うと、学校側にも迷惑がかかるかもしれません。しかし、なんといっても電話一本で予約できて会場費がかからないのは大変魅力的です。

一同： （笑）

辻： 資料代も、結構費用がかかります。「今日の研修会に来られなかった同僚のために、あと2冊ください」などの要望もでてきますから。

荻野： ホームページに資料をアップして、ダウンロードできる仕組みを考えるのもいいかもしれません。

今井： 非会員との差別化を図る意味で、パスワード設定した会員専用ページを作ることも必要になってきます。

荻野： 将来的な話になりますが、ホームページリニューアルの話もでていますので、今後、画像や動画も見えるような形がいいですね。

山田： 研修会終了後に、質問を書いてもらって回答する時間を設けていますが、時間がないため研修会の時間内で回答しきれないことがあります。そこで、ホームページにQ&Aを掲載してもらうことにしました。これは、現在のホームページでも実行可能な話です。

辻： 開催回数が増えると、事業申請が結構大変です。シリーズ開催なら1回の申請で済むといいんですが。

荻野： 日臨技生涯教育の事業申請の関係で仕方ないです。申請書類の簡素化がはかれるといいと思いますので、今後の検討課題とさせていただきます。

一 最後に

今井： 本日はお集まりいただき、ありがとうございました。今日の座談会の中で費用の話がでていましたが、逼迫した京臨技財政の中でいかに会員利益につながる活動が出来るかが重要なことで、会誌等の出版活動の効率化や精度管理事業の有料化を推進する一方で、学術活動は充実させていきたいと考えています。そういう意味で生理検査研究班のアグレッシブな活動は出来るだけ応援していきたいと思いますので、多数の会員にメリットが得られるような研修会開催をお願いします。

（文責：京都大学医学部附属病院 白波瀬 浩幸）

今年度から、A班とB班と二分して研修会企画を行います。A班は心電図、肺機能、脳神経などの主に波形で診断するような検査項目を扱います。B班は画像検査（超音波、MRI）の研修会を担当します。

○ A班の活動予定

心電図Ⅰ（認定心電図技師を目指して 基礎から応用まで）4回シリーズ、心電図Ⅱ（認定心電図技師を目指して PM 心電図）4回シリーズ、脳波・誘発電位3－4回シリーズ、肺機能検査4回シリーズ、PSG（終夜睡眠ポリグラフ検査）講座4回シリーズ

○ B班の活動予定

腹部超音波講習会（基礎・応用）2回、超音波基礎1回、超音波実技講習会（心臓・血管・腹部）1回、心臓超音波講習会1回、甲状腺超音波講習会1回、末梢血管講習会1回、乳腺超音波講習会（基礎・応用）2回

REPORT

活動報告

市民公開講演「インフルエンザパンデミック」

平成21年5月23日（土）キャンパスプラザ京都において京臨技定期総会に引き続き市民公開講演『インフルエンザパンデミック』が開催されました。

講師に清水 恒弘先生（京都市立病院 感染症内科部長）を迎えて、会員39名、非会員（賛助会員および市民）6名の参加者でした。

京都市内でも新型インフルエンザ患者が発生し多くの教育施設が休校となる中の開催のため、一般市民の参加は少なかったようです。

講演はインフルエンザウイルスの基本構造から過去の大発生の状況についてはなされ、その後、新型インフルエンザの今後の動向や予防について話された。国内の現状から①感染者の増加は見られるが、これから夏になり気温の上昇とともに終息に向かうであろうと予測が出来る事、ただ今年の冬の季節性インフルエンザの時期に新型の流行が懸念される事、また季節性インフルエンザの型別発生予想とその時期については過去の統計から予測が立たないこと。

予防対策については糖尿病などの基礎疾患のコントロールの重要性を強調された。また日常生活の中で気をつける事として、①人ごみは可能な限り避け、避けられない場合はマスクを正しく使用する事、②ウイル

スのついた手で目をこする、鼻をさわる、指をなめる、が感染につながる危険な行動であるため、手洗いは大変重要で1日何度でも行なう事と説明された。

講演の後のフロアからの質問も活発であり、一般市民からは巷ではマスクの入手が困難であり手作りマスクなるものまで出ているが効果はあるのかという質問や、臨床検査技師会会員からは季節性インフルエンザのA型、B型の発生予想や医療従事者のインフルエンザ治療薬の予防的投与の必要性についてなどの質問がされた。

（文責：相馬病院 林 雅弘）



★ 京臨技ホームページに「生理検査 Q&A」開設 ★

今年度の生理検査分野は、数多くの研修会を開催し、非常に多くの会員みなさまにご参加いただいております。研修会の最後に質問を受けてお答えしてまいりましたが、時間の都合上全てにお答えすることが難しいのが実情です。また、質問内容を記録として残すことで、多くの会員に共有することも可能となります。6月12日より、京臨技ホームページにて「生理検査Q&A」を公開いたします。ホームページをご覧頂き、業務に役立てていただければ幸いです。是非、ご利用ください。

49 近医学第010号

平成21年6月吉日

会員各位

第49 回近畿医学検査学会

学会長 今井 秀一

公印省略

第49 回近畿医学検査学会のご案内

第49 回近畿医学検査学会のご案内を下記の要領で開催致します。会員の皆様の多数の参加を心よりお待ちしております。

記

1. 会期・会場

- 1) 会 期：平成21年11月28日（土）・29日（日）
- 2) 会 場：京都市勧業館「みやこめっせ」（京都市左京区岡崎成勝寺町9番地1）

2. 運 営

- 1) 主 催：近畿臨床検査技師会
- 2) 担 当：社団法人 京都府臨床検査技師会
- 3) 学 会 長：今井 秀一（綾部市立病院）
- 4) 実行委員長：白波瀬浩幸（京都大学医学部附属病院）
- 5) 事 務 局：〒606-8395 京都市左京区東丸太町9番地の1 マンパワービル3F
（社）京都府臨床検査技師会事務所内 TEL・FAX 075-752-5090
URL <http://kamt49.umin.ne.jp/>

3. テ ー マ

「見方が変わると、仕事が変わる ～臨床目線で検査をみる～」

4. 学 会 企 画

- 1) 特別講演 「おもしろおかしく」
堀場 雅夫（株式会社堀場製作所 最高顧問）
- 2) 教育講演 「肝臓病 Up-To-Date ～検査データでここまでわかる肝疾患～」
岡上 武（大阪府済生会吹田病院 病院長）
- 3) 公開講演 「小さな大病院 ～魅力ある病院づくり～」
白方 秀二（社会保険京都病院 末梢血管治療センター長）
- 4) 公開講演 「ワコールにおける人間科学的ものづくり」
坂 里祭（ワコール人間科学研究所）
- 5) シンポジウム 10 企画
- 6) 一般演題 公募
受付期間：平成21年6月15日（月）～7月31日（金）
申込方法：日臨技総合情報管理システムから、
日臨技正会員以外は電子メールにて受付します
発表形式：口演および示説発表

5. 同 日 開 催

- 1) 第52 回日本臨床検査医学会近畿支部総会
- 2) 第29 回日本衛生検査所協会近畿支部学術研究発表会
- 3) チーム医療実践セミナー（ICT、NST、糖尿病療養指導、運営管理）
- 4) POC セミナー 「POCT 機器の操作と通信」

平成20年度 第11回定例理事会議事録

日 時 : 平成21年4月9日(木) 18:30~20:30
 場 所 : 京臨技丸太町事務所
 議 長 : 今井
 書 記 : 早瀬 議事録署名人: 今井、白波瀬
 出席者 会長: 今井 副会長: 石澤、白波瀬
 理事: 青山、荻野、佐々木、高嶋、豊山、西川、丹羽、林孝俊、
 林雅弘、早瀬、藤崎、廣瀬
 顧問: 欠席 監事: 欠席
 日臨技理事: 湯浅
 事務局: 山方
 委任状出席: 小澤、中村
 欠席: 芦田、山田

【報告事項】

◎ 今井会長報告

- 3月15日(日) 京都大学付属病院中央検査部創設50周年式典
- 3月28日(土) 日臨技平成20年度第2回定期総会 予定
- 4月4日(土) 第4回近畿医療フォーラム 大阪府病院年金会館
- 4月4日(土) 近畿臨床検査技師会 会長会議 大臨技事務所
- 4月8日(水) 京都保健衛生専門学校入学式京都アスニー

◎ 白波瀬副会長報告

- 4月4日(土) 第4回近畿医療フォーラム(大阪府病院年金会館) 参加
 テーマ: 季節に関係なく流行する新型インフルエンザ ～パ
 ンデミックインフルエンザに生き残るための正しい知識～

◎ 小澤総務部長報告

- 次月行事予定発送日 4/21(火)

◎ 豊山理事

- 3/25 第44回 京都病院学会 プログラム編成会議 出席
- 4/7 第44回 京都病院学会 第3回実行委員会出席(予定)

◎ 湯浅日臨技理事(日臨技報告)

- 1 平成20年度第2回定期総会 終了
- 2 第3回 AAMLS 学会参加案内
 2009年7月30日から8月1日まで パシフィコ横浜

◎ 丹羽理事

- 4月7日に2008年度の精度管理報告CDを発送したが、臨床化学のデータが漏れていた。ホームページにアップするとともにCDを再発送する。

◎ 荻野学術部長

- 学術企画の研修会・講演会予定
- 第7回京都糖尿病療養指導士講演会
 7月4日(土) メルパルク京都 共催: 三光純薬 講師:
 肥後直子(京都府立医科大学病院 看護部)
 土井邦紘(土井内科、全国臨床糖尿病医会会長、京都府糖尿病医会会長)
- 平成21年度京都府医師会・京都府臨床検査技師会合同研修会
 7月25日(土) リーガロイヤルホテル 共催: ロッシュ 講

師: 小柴賢洋(兵庫医科大学 臨床検査医学 教授)、他1名
 検査技師

- 第1回京都臨床化学サマー研修会 ～生化学検査基礎講座～
 8月30日(日) 堀場製作所または京都保健衛生専門学校、
 京都大学大学院医学研究科
 後援: 日本臨床検査同学院、日本臨床検査医学会 講師: 高
 橋 浩(ファルコバイオシステムズ研究所顧問)、他京臨技臨
 床化学研究班委員数名

【委嘱・承認事項】

1. 会員動向(別紙資料)

会員総数939名(4月3日現在)

新入会41名 退会61名 転出5名 転入6名

【検討議案】

1. 京臨技定期総会準備進捗状況 林雅弘理事
 役割分担の確認

2. 下記研修会でPC、WEBカメラ、インターネットを利用した遠隔地会場研修会の実験的取り組みをしたいと藤本さん(ファルコ)、前川さん(メディカ出版)より依頼がきております。

WEB会場と本会場はPCモニターにより対話形式で研修会を進めることができます。

これによりWEB会場の参加者の会員番号、氏名、を確認して本会場担当者が登録できます。

良い機会なので北部で1会場と南部として山城病院さんをWEB研修会場でいかがでしょうか。

器材はすべてメディカ出版が準備します。ご検討お願いします(小澤総務部長)

○京臨技臨床化学研修会

平成21年5月26日(火) 18:30 ~ 20:30

会 場 : 京都保健衛生専門学校

演 題 ①:『わかりやすい二級臨床検査士認定試験問題(臨床化学)の解説』

(同時開催: Webを活用した二級試験問題の解説講座)

90分

講 師 ①: 藤本 一満 技師 (株式会社ファルコバイオシステムズ)

北部は綾部市立病院、南部は公立山城病院とする。承認

3. 2009年精度管理事業の検討事項 石澤副会長
 2009年度より有料化する。 承認
 金額およびその他事項については継続審議とする。

4. 事務所移転の件 今井会長

来年9月に医師会館が完成するが、一室を借りることが可能である。早急に申し込みの必要がある。 承認

第12回京臨技定例理事会の予定

5月14日(木) 6:30~8:30

会場: 京都保健衛生専門学校大会議室

平成20年度 第12回定例理事会議事録

日時：平成21年5月14日（木）18:30～20:30
場所：京都保健衛生専門学校 大会議室
議長：今井
書記：藤崎 議事録署名人：今井、芦田
出席者 会長：今井 副会長：芦田、白波瀬
理事：荻野、小澤、佐々木、高嶋、豊山、中村、丹羽、林孝俊、
早瀬、藤崎、山田
顧問：田畑 監事：清井
日臨技理事：湯浅
事務局：山方
委任状出席：石澤、廣瀬、青山
欠席：西川、林雅弘

【報告事項】

- ◎ 今井会長報告
 - 5/11（月）20年度京臨技会計監査 京都保健衛生専門学校 18：30～
- ◎ 小澤総務部長報告
 - 次月行事予定発送日 5/20（水）
- ◎ 豊山理事
 - 5/12 第44回京都病院学会 第4回実行委員会出席

【委嘱・承認事項】

1. 会員動向（別紙資料1）：小澤理事より報告を受けた。
会員総数950名（5月12日現在）
新入会14名 退会6名 転入3名 転出3名
新規施設登録1件 仮会員入会1名・・・承認
2. 「精度管理実施項目・内容について」：白波瀬副会長より報告を受けた。
2009 精度管理実施内容
 - 1）有料化にて実施・・・承認
非会員施設は、参加費プラス15,000円
 - 2）結果報告について・・・①以外は継続討議
 - ①参加証の発行をおこなう・・・承認
 - ②成績表を印刷して返却
「問題なし」「要指導」の2種類くらいで
 - ③個々の報告についてはCDで報告
 - ④研究班ごとにpdf ファイルを作成する
 - 3）サーベイ実施内容・・・承認
 - ①実施項目
 - 基本項目＜臨床化学、血清、血液、輸血A、一般、生理＞
臨床化学：
血清：
血液：
輸血A：血液型
一般：フォトサーベイ
生理：フォトサーベイ、ビデオサーベイ
 - オプション項目（以下の項目について選択する）
輸血B：不規則抗体・クロスマッチ
細菌A：グラム染色
細菌B：同定・感受性
細胞：フォトサーベイ
病理：染色
 - ②参加コースと参加料金
（1～6のひとつしか選択できません）
 - 1. 全項目コース（8000円）
基本項目＋輸血B、細菌A、細菌B、細胞、病理
 - 2. 基本項目＋オプションコース
（6000円＋500円×オプション（ ）個）
 - 3. 基本項目コース（6000円）・・・承認

- ③選択コースと参加料金
（各コース2000円：複数選択できません）
 - 4. 輸血A、輸血B
 - 5. 細菌A、細菌B
 - 6. 細胞、病理

2. 京都府糖尿病対策推進委員会（糖尿病協会・糖尿病学会・医師会）主催の医師、コメディカル向けの講習会の共催：荻野理事より報告を受けた。
 - 1）研修会は京都府4地区（舞鶴、福知山、市内、宇治）で開催予定
 - 2）開催にあたり各々の職種で糖尿病療養指導士認定のためのI群申請をする
 - ・・・承認

【検討議案】

1. 京臨技定期総会について：小澤理事より報告を受けた。
 - 1）委任状提出状況 5/14 現在 335名、委任状用紙の紛失も考慮しメールで理事・班長に委任状用紙を送ることを確認した。
 - 2）定期総会議案書の各議案について討議した。1号議案、4号議案は訂正が多いため、林孝俊理事が修正することを確認した。
 - ・・・承認
2. 21年度予算案について：小澤理事より報告を受けた。
日臨技委託事業について1事業に付き30万円の委託金を受け取ることができることもあり、積極的に事業をすることを確認した。内容については以下の通りとする。
 - ① 9月、10月にがん征圧月間、乳がん撲滅月間 事業
くらしと健康展で、「がん征圧」に関する内容を取り入れる
 - ② 12月に世界エイズデー 事業
京都市が行っている「エイズ撲滅活動」に参加協力
 - ③ 2月に生活習慣病予防 事業
2月に糖尿病療養士の研修会に絡めた公開講演会開催して「生活習慣病予防」などを予定する。
精度管理有料化による収入と上記内容による収入も含めた予算案について討議し確認した。
 - ・・・承認
3. 救急処置講習会について：芦田副会長より報告を受けた。
提案：救急処置講習会を京臨技の事業内容としては開催しない。
理由：日赤京都支部より救急講習会の開催については、平日（月～金）の午前9：00～午後5：00で対応するとの文章が届き、現状では京臨技会員の参加人数も少なく、今後とも平日開催で多くの参加者が期待できないため。
上記の内容で討議し開催しないことを確認した。
・・・承認
4. 新医師会館の京臨技事務所借用の件：今井会長より報告を受けた。
医師会側から建坪面積の縮小により、他団体が借用することはできないとの連絡が入り断念する。
・・・承認

平成21年度第1回定例理事会の予定
6月11日（金）6:30～8:30
会場：京臨技丸太町事務所

第26回日本心電学会学術集会

公開講座のご案内

日常臨床に携わる臨床検査技師・看護師・研修医の方を対象とした第26回日本心電学会学術集会併設の公開講座です。

公開講座Ⅰ：ニーズに応える心電図・生理検査をするために

座長： 山科 章（東京医科大学 循環器内科）

演題・演者

1. 不整脈をシンプルに解説して対応する。放置か緊急対応か？薬物かアブレーションか？
田中 喜美夫（株式会社日立製作所水戸総合病院 循環器内科）
2. 電子カルテ化時代に向けた生理検査システムについて（仮）
今西 孝充（神戸大学医学部附属病院 検査部） 他 演者1名（予定）

公開講座Ⅲ：特殊心電図法のノウハウ

座長： 平岡 昌和（東京医科歯科大学）

井上 博（富山大学大学院医学薬学研究部 内科学第二）

演題・演者

1. ホルター心電図業務の要点とピットフォール
棟方 伸一（北里大学 臨床検査部）
2. ホルター心電図、家庭用心電図、イベントレコーダーの基本と臨床
加藤 貴雄（日本医科大学 内科学）
3. 致死性不整脈の予知法（TWA、遅延電位、心拍変動などの基本と臨床）
池田 隆徳（杏林大学 第二内科）

会 場： 国立京都国際会館 〒606-0001 京都市左京区宝ヶ池 TEL：075-705-1234 FAX：075-705-1100

公開講座Ⅰ：E会場（本館・会議場1階 Room D）

公開講座Ⅲ：F会場（本館・会議場1階 Room E）

日 時： 公開講座Ⅰ：平成21年7月2日（木）18:00～20:45（17:45より入場可）

公開講座Ⅲ：平成21年7月4日（土）14:30～17:30（14:15より入場可）

申 込：1) 平成21年5月18日（月）より申込みを受け付けます。

2) 定員：200名（公開講座Ⅰ）、230名（公開講座Ⅲ）

3) 受講を希望される講座（公開講座Ⅰ／公開講座Ⅲ）ごとに、
各共催会社の受付へFAXで直接お申込みください。

申込書は、両社ホームページの案内からもダウンロードできます。

公開講座Ⅰ

FAX：03-5996-8090 TEL：03-5996-8028（日本光電・公開講座係）

<http://www.nihonkohden.co.jp/>

公開講座Ⅲ

FAX：03-5684-1318 TEL：03-5684-8330（フクダ電子・公開講座係）

<http://www.fukuda.co.jp/>

4) 申込みを受け付けた方へは、聴講票をお送りします。

5) 入場は無料（聴講票必要、軽食付）です。

6) 各講座終了時、受講証をお渡しします。

付記： 本公開講座を共催する日本心電学会は日本臨床衛生検査技師会の生涯教育・研修の関連学会・団体として登録されています。今回の講座（Ⅰ・Ⅲ）は「専門教科10点」相当です。

共催

第26回日本心電学会学術集会・日本光電工業株式会社（公開講座Ⅰ）・フクダ電子株式会社（公開講座Ⅲ）